

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-344441

(43)Date of publication of application : 12.12.2000

(51)Int.Cl.

B66B 7/12

B66B 5/12

G01N 27/83

(21)Application number : 11-158245

(71)Applicant : HITACHI BUILDING SYSTEMS CO
LTD

(22)Date of filing : 04.06.1999

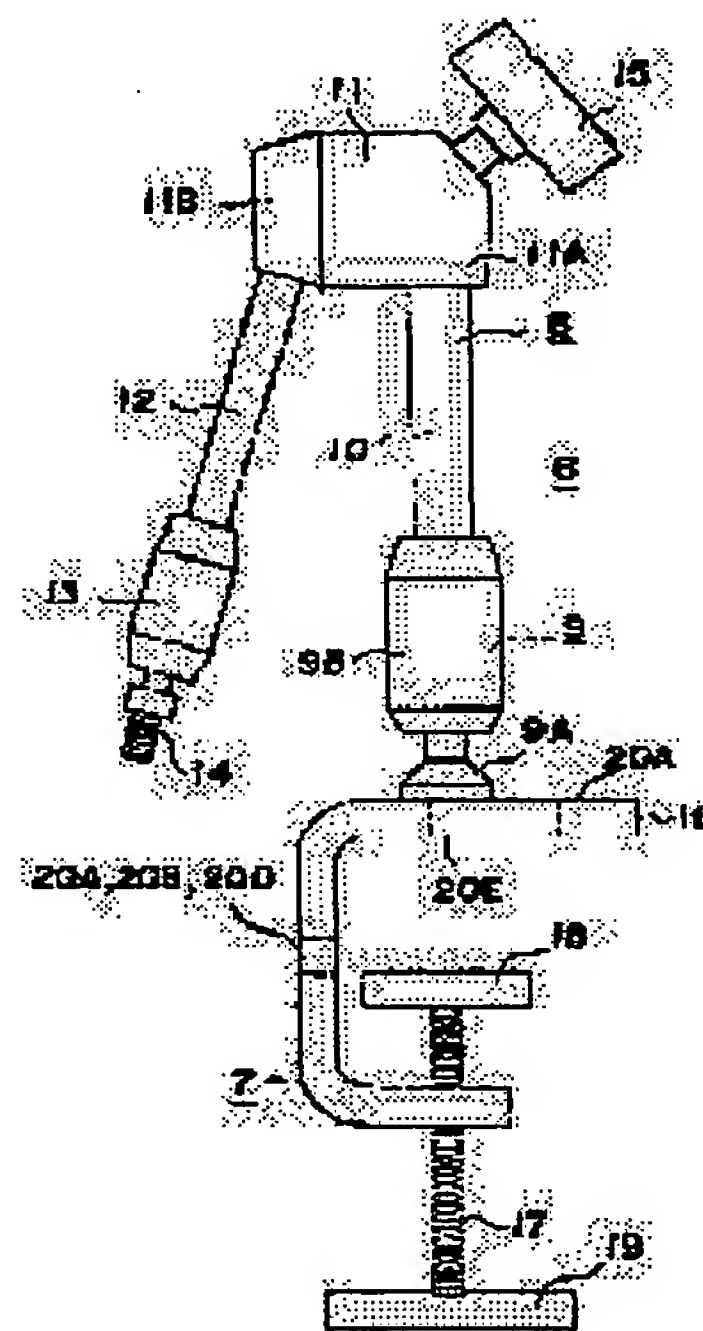
(72)Inventor : WATANABE TOSHIKI
MITSUTA YOSHIO
HIRAMA YUTAKA
KUNII MAKOTO

(54) HOLDING DEVICE FOR ROPE FLAW DETECTOR

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a holding device for a rope flaw detector which can safely and accurately detect flaws in a rope.

SOLUTION: A mounting base member 7 is mounted on a structure around a hoist and a rope flaw detector is held via an angle fixing device 8 connected to the mounting base member 7. The angle fixing device 8 can adjust position and angle when a clamp knob 15 is in its open state, and when the clamp knob 15 is tightened the angle fixing device 8 fixes position and angle.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of
rejection][Kind of final disposal of application other than
the examiner's decision of rejection or
application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2000-344441
(P2000-344441A)

(43)公開日 平成12年12月12日(2000.12.12)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	ページト* (参考)
B 6 6 B 7/12		B 6 6 B 7/12	Z 2 G 0 5 3
5/12		5/12	A 3 F 3 0 4
G 0 1 N 27/83		G 0 1 N 27/83	3 F 3 0 5

審査請求 未請求 請求項の数6 OL (全 6 頁)

(21)出願番号 特願平11-158245

(22)出願日 平成11年6月4日(1999.6.4)

(71)出願人 000232955
株式会社日立ビルシステム
東京都千代田区神田錦町1丁目6番地

(72)発明者 渡辺 敏明
東京都台東区上野5丁目23番14号 株式会
社日立ビルシステム東関東支社内

(72)発明者 光田 好男
東京都台東区上野5丁目23番14号 株式会
社日立ビルシステム東関東支社内

(74)代理人 100078134
弁理士 武 顕次郎 (外2名)

最終頁に続く

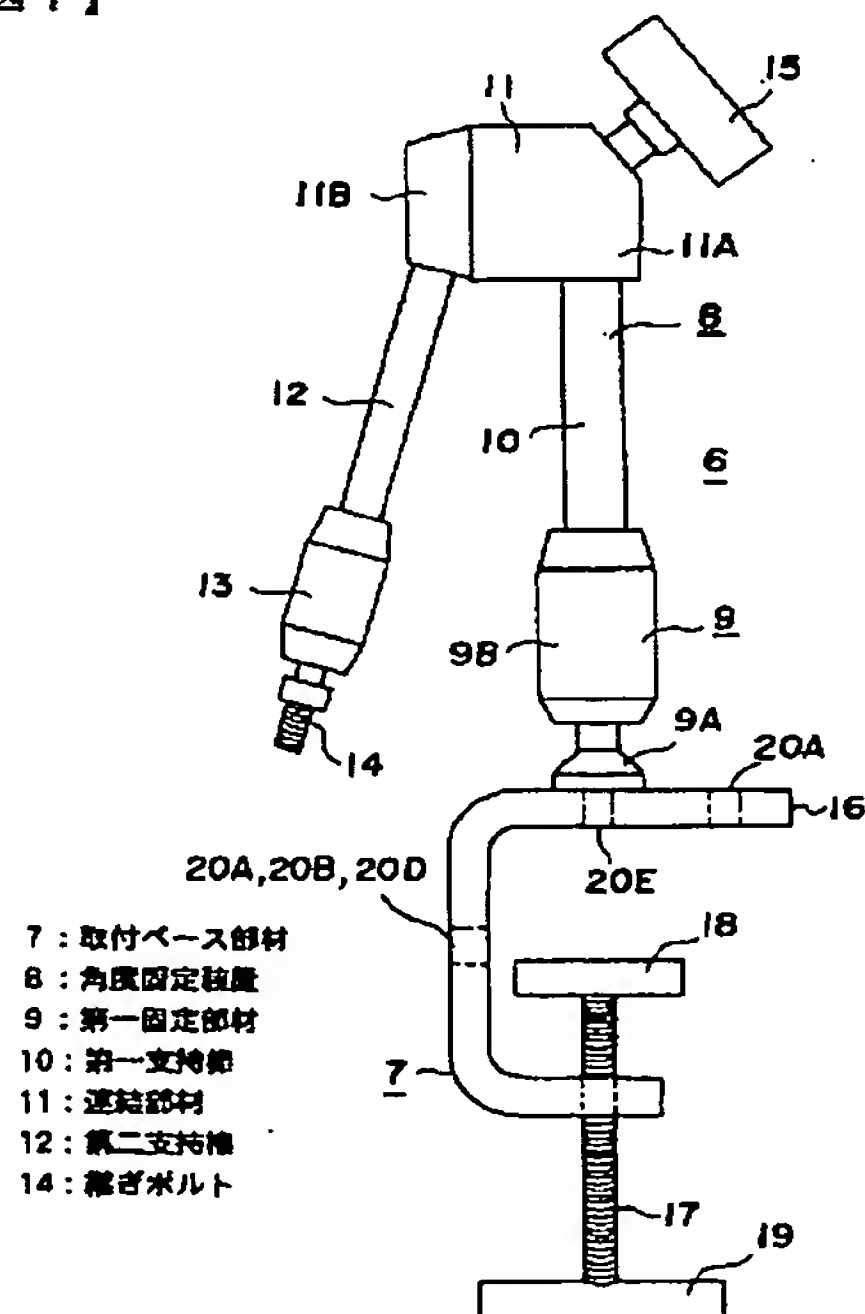
(54) 【発明の名称】 ロープ探傷装置の保持装置

(57) 【要約】

【課題】 安全かつ正確にロープの探傷を行なうことのできるロープ探傷装置の保持装置を提供する。

【解決手段】 巻上機の周囲の構造体に取り付けベース部材7を取り付け、この取り付けベース部材7に連結した角度固定装置8を介してロープ探傷装置5を保持するようにし、この角度固定装置8は、クランプつまみ15の開放状態で位置および角度を調整可能な状態になると共に、クランプつまみ15の締め付け状態で位置および角度を固定するようにした。

【图 1】



傷装置5は保持装置6によって固定されているため、従来のように作業者がロープ探傷装置5のハンドル部を長時間握っている必要もなく、一定した位置にロープ探傷装置5の検出部5Aを保持することができるので、作業者の安全を図ることができると共に正確にロープ4の探傷を行なうことができる。

【0016】図5は、本発明の他の実施の形態によるロープ探傷装置の保持装置を取り付けたエレベータの要部を示す斜視図である。ロープ探傷装置5を上記した保持装置6で保持した後、図3に示したようにロープ探傷装置5に取り付けた吊りフック等からなる連結具21に綿ロープからなる吊りロープ22の一端を固定し、この吊りロープ22の他端を機械室の適当な壁に固定し、この吊りロープ22で保持装置6を補うようにしている。

【0017】このように吊りロープ22と保持装置6でロープ探傷装置5を所定の位置に保持するようにすれば、支持の安定性を増し加えることができると共に、保持装置6の組立手順を種々選定することができるようになる。つまり、重いロープ探傷装置5を作業者が保持しながら保持装置6を組み立てるのは得策ではないから、先に実施の形態では保持装置6を設置した後、保持装置6の支持連結部材14をロープ探傷装置5に螺合して連結する手順を取ったが、吊りロープ22でロープ探傷装置5を仮保持することも可能になるため、保持装置6をロープ探傷装置5に連結した状態で仮保持し、最後に取付ベース部材7を載置台2へ固定することもできるようになる。また、ロープ4の表面が塵埃や油などで著しく汚染している場合に、ロープ4とロープ探傷装置5の検出部5Aとの摺動抵抗が大きくなるために、ロープ4の移動方向にロープ探傷装置5が強く引っ張られて、作業者の手からロープ探傷装置5が離れてしまうようなことがあっても、図5の実施形態によればロープ探傷装置5が吊りロープ22で吊り下げられた状態となり、ロープ探傷装置5が落下することなく、安全である。

【0018】なお、上述した実施の形態ではエレベータのロープ4を探傷するロープ探傷装置の保持装置として説明したが、その他の用途におけるロープを探傷するロープ探傷装置の保持装置に適用することができる。またロープ探傷装置5と角度固定装置8間の連結に継ぎボルトからなる支持連結部材14を用いたが、その他の構造の支持連結部材を用いても同様である。

【0019】

【発明の効果】以上説明したように本発明によるロープ

探傷装置の保持装置は、ロープの近傍に位置する構造体に脱着可能に取り付ける取付ベース部材と、ロープ探傷装置に連結する支持連結部材との間に、位置および角度を調整可能な角度固定装置を設けたため、ロープの近傍に位置する構造体に角度固定装置で補正しながら保持することができるようになり、作業者がロープ探傷装置のハンドル部を長時間握っている必要もなく、一定した位置にロープ探傷装置の検出部を保持しておくことができるので、作業者の安全を図りながら正確な探傷を行なうことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施の形態によるロープ探傷装置の保持装置を示す正面図である。

【図2】図1に示したロープ探傷装置の保持装置を取り付けたエレベータの要部を示す斜視図である。

【図3】図2に示したロープ探傷装置の保持装置を拡大して示す正面図である。

【図4】図1に示したロープ探傷装置の保持装置の分解状態を示す斜視図である。

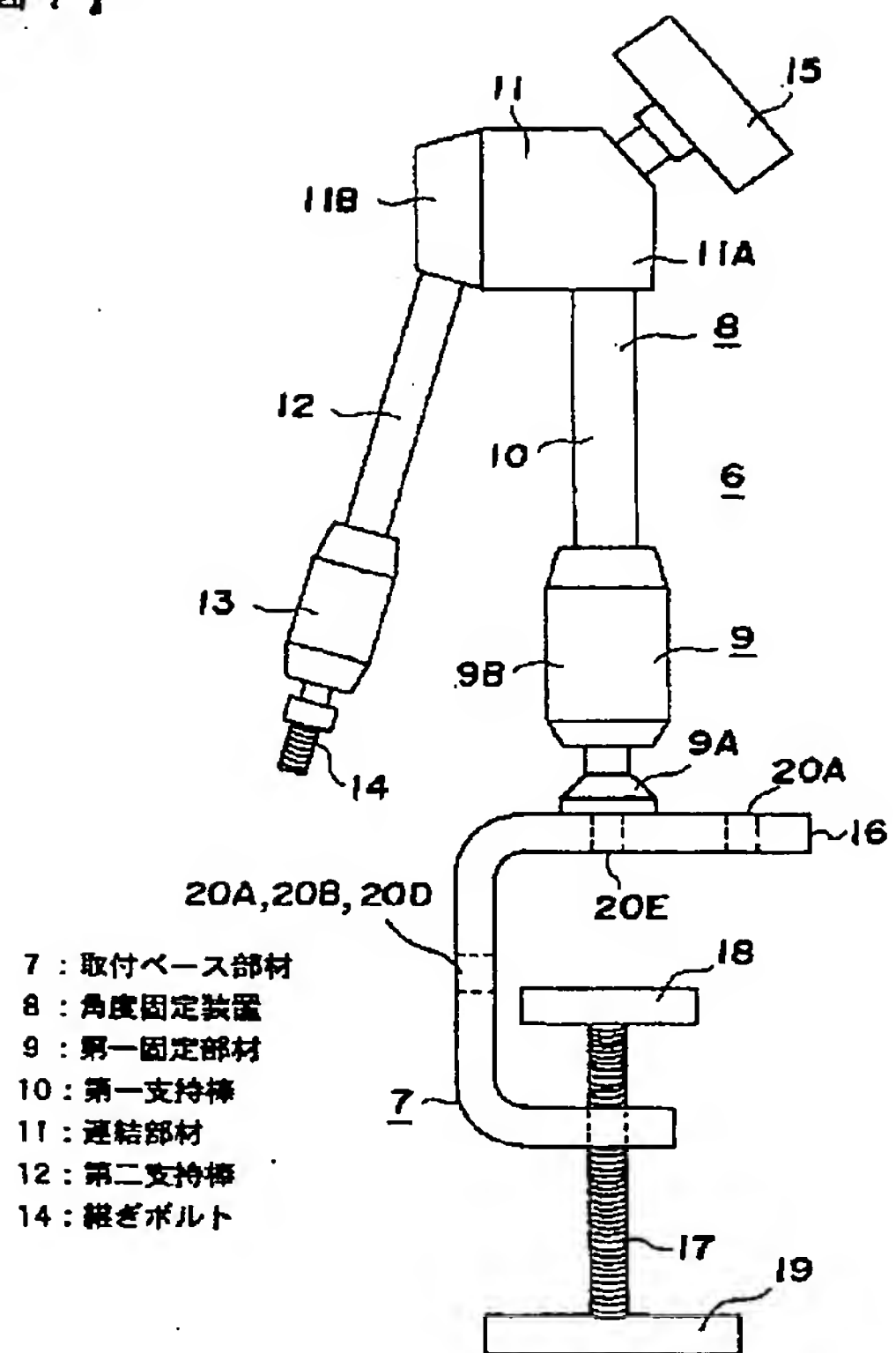
【図5】本発明の他の実施の形態によるロープ探傷装置の保持装置を取り付けたエレベータの要部を示す斜視図である。

【符号の説明】

- 1 巻上機
- 4 ロープ
- 5 ロープ探傷装置
- 6 保持装置
- 7 取付ベース部材
- 8 角度固定装置
- 9 第一固定部材
- 10 第一支持棒
- 11 連結部材
- 12 第二支持棒
- 13 第二固定部材
- 14 支持連結部材
- 15 クランプつまみ
- 16 クランプ体
- 18 押し金具
- 19 操作ハンドル
- 20A～20E 取付ねじ穴
- 21 連結具
- 22 吊りひも
- 23 建物構造物

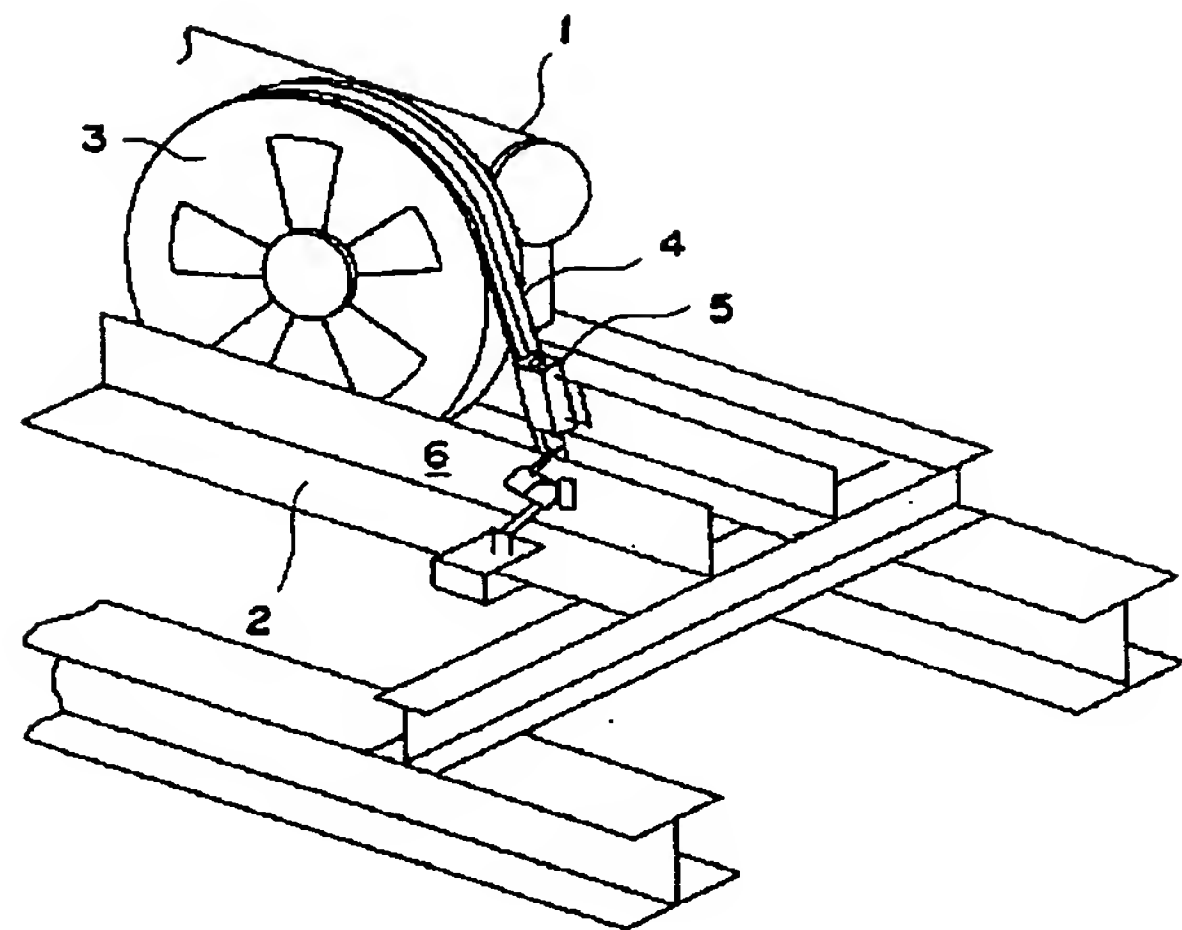
【図2】

【圖 1】



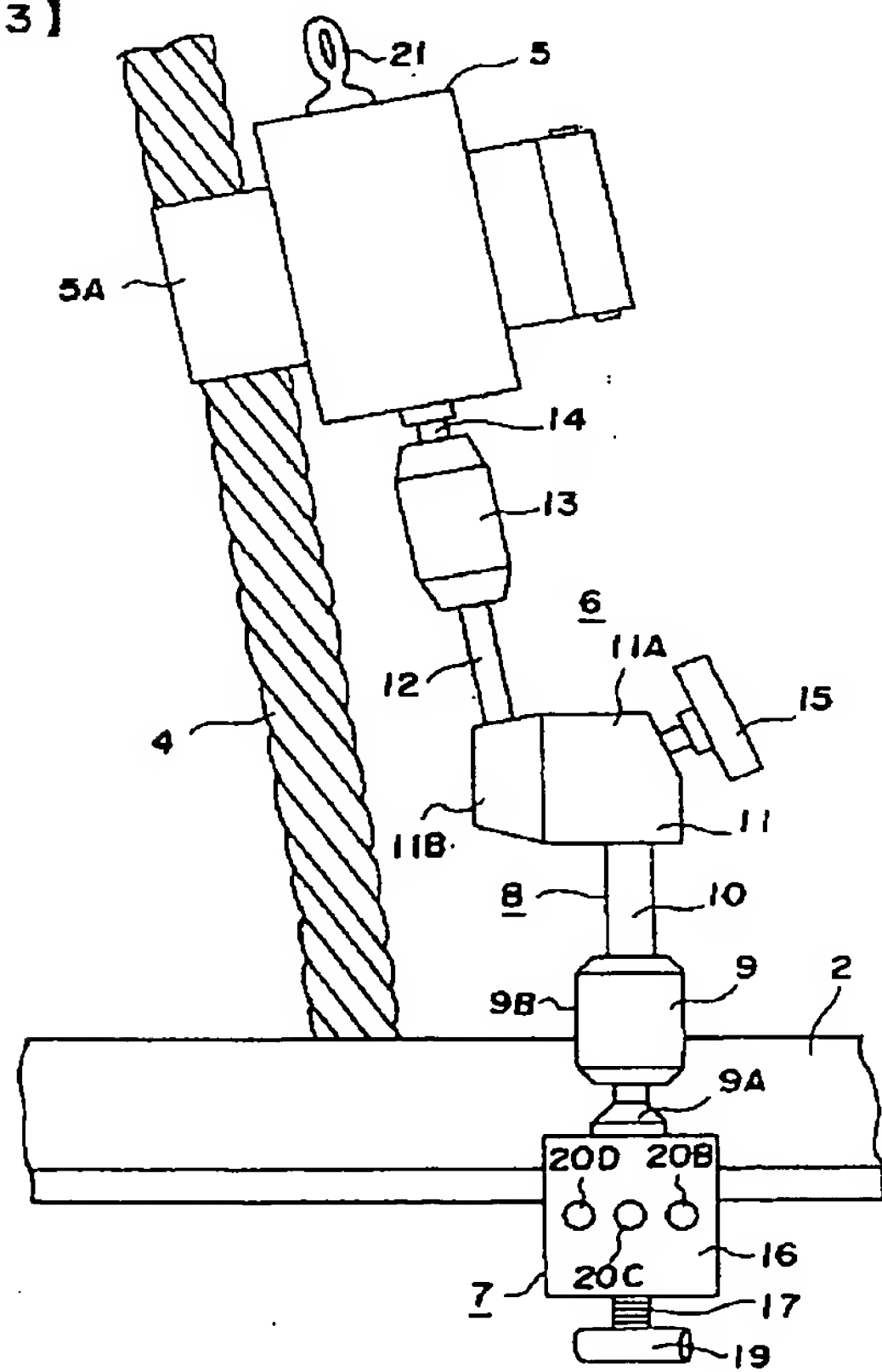
【図2】

【図 2】



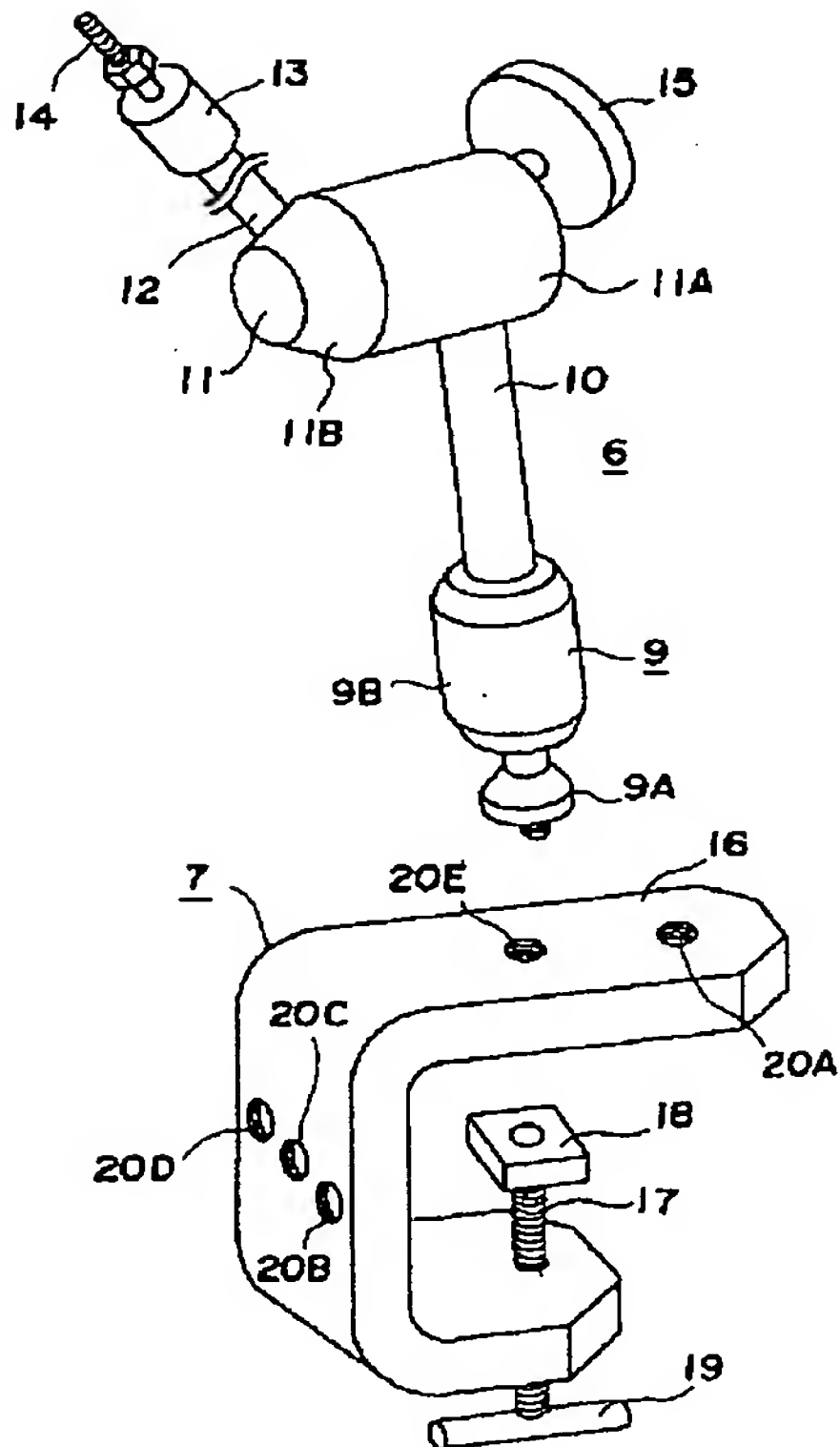
【図3】

【图 3】



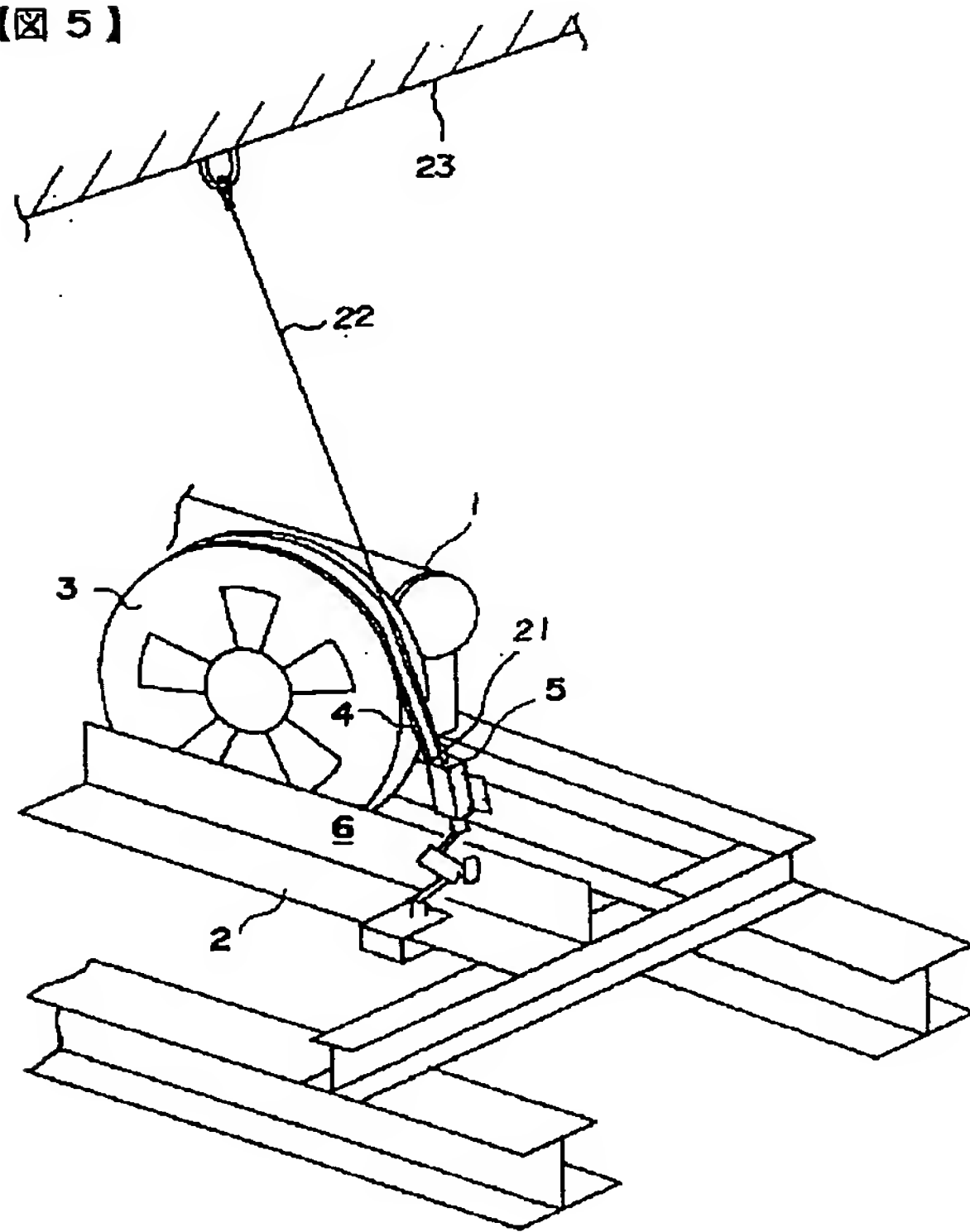
【図4】

【図4】



【図5】

【図5】



フロントページの続き

(72)発明者 平間 豊
東京都千代田区神田錦町1丁目6番地 株
式会社日立ビルシステム内

(72)発明者 国井 誠
東京都千代田区神田錦町1丁目6番地 株
式会社日立ビルシステム内

Fターム(参考) 2G053 AA11 AB22 BA14 BB05 CA03
DB15 DB19 DB23
3F304 BA06 BA09
3F305 BC36